



ふたご通信

No.05



Air Mail from Nepal

名北トレーニングセンターでは、建設関連、介護関連の40名程度の学生が日本語トレーニングを受けています。現在ネパールでは、海外留学、技能実習、特定技能などにより日本へ行くことを希望する若者が多く、日本国内のネパール人は12万5千人（前年比150%超）を超える人気ぶりです。

その日本ブームを盛り上げているイベントが、日本関連団体の主催により各地で開催されております。今回は、カトマンズ市内で開催されたイベントに、当センターの学生達も参加しておりますので、その様子を紹介します。

●「第42回全ネパール日本語弁論大会」

3月18日にネパール日本語教師協会主催の弁論大会が開催されました。当センターの日本語検定 N4 を取得した学生の中から3名が参加し「夢」「命」「みため」をテーマに介護職種を選んだ学生らしくしっかりとした内容のスピーチでした。（動画はHPで配信中）

●「JAPAN DAY」

3月25日には、日本大使館主催の JAPAN DAY が開催され、日本食、日本文化の体験や日本映画やアニメが放映されました。

当センターから参加した建設業種の学生は、習字体験ブースで覚えた漢字を披露するなど日本文化にふれ楽しんでいました。

（画像：日本大使館HPから引用）



建設業種の実習生

【日本語検定 N4 取得に向けて】

現在、ふたご協同組合では、建設業種の実習生向けに、日本語検定 N4 検定受検セミナーを週末に行っております。



受講生も徐々に増えて、現在当初の倍の人数が参加する日もあります。組合員様の中には本人の努力に報いるため、N4に合格すると毎月のお手当が出ることもあり、実習生の中には、そんな気持ちに応えるように、熱心に勉強する方もみえます。



みなさんの努力がみのりますように。
みなさん合格しますように…。



介護業種の実習生

【技能実習2号を取得するまで】

昨年、4月に入国した介護3期生13名は、もうすぐ来日1年を迎えます。今年4月に技能実習2号となり、より高度な介護技術と流ちょうな日本語が求められます。この1年間は、日本の生活に慣れ、介護現場での実習、日本語検定合格、技能実習初級試験など、大変な日々を送ってきました。

そんな介護職種の技能実習生の1年間を振り返ります。



←【入国後講習】
入国してから約1ヶ月は日本の法令、職場や生活上のルールや日本語の勉強をします。この写真は閉講式の時のものです。

【実習生との面談】→
監理団体は、入国後1年間は月1回の面談を行います。言葉や風習の違いなどで困っていることの相談などに対応します。



←【技能実習の風景】
特別養護老人ホームで入所者様へ食事介助をしている実習生の様子です。



使えるネパール語！【職場編】

名前は何ですか？
日本はどうですか？
休みの日は何をしますか？
明日何か予定ありますか？
どこに行きたいですか？
何を食べたいですか？
お酒はのめますか？
仕事に慣れましたか？
何か困っていますか？
寂しいですか？
いつ休みですか？
残業できますか？
寒いですか？
暑いですか？

タパイ コナム ケ ホ？
ジャパン カスト ラゲコ チャ？
ピダ コ ディン ケ ガルヌフン
チャ？
ポリ コ プラン ケ チャ？
カハ ザナ マン ラゲコ チャ？
ケ カナ マン ラゲコ チャ？
ラクシ ピウヌ フン チャ？
カム マ バニ パリサキョ？
ケヒ サマシャ パレコ チャ？
ニヤスロ ラゲコ チャ？
カヒレ ピダ チャ？
オバタイム ガルヌフン チャ？
ジャド チャ？
ガルミ チャ？

この時期は人の動きが活発になります。それは国内だけに留まらず、空港では世界中の多くの国から留学、技能実習、就労などを目的にやってくる外国人であふれています。学校や企業も年々、外国人の受入体制は充実してはいますがまだまだ課題も多いようです。常に相手の立場に立って考えるように心がけていても、人それぞれの価値観や大切にしているものの違いもあります。それでも、「ここに来てよかった」と感じてもらえるような環境づくりに努めたいものです。

ふたご通信第5号 2023年3月 発行

発行元 ふたご協同組合

所在地 北名古屋市九之坪東町4番地5

電話 0568-65-6071

FAX 0568-22-7612

Web: www.futago-coop.org

※当組合のホームページは→
(リニューアルし最新情報を掲載中です)

